

令和7年度の取組状況

令和7年度第3回 摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進計画

令和8年3月23日

第9期せつつ高齢者かがやきプラン施策体系

1. いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】
2. 様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】
3. 高齢者が安心してサービスを受けられるまちづくり【高齢者を支えるサービス整備】

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

①健康づくりグループについて

KPI R6:50グループ(目標値:55グループ)
→R7:52グループ(目標値:58グループ)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

- ・会員の高齢化等により解散するグループがあり、グループ数が減少しているため、会員確保及びグループ活動継続支援等を関係課と連携しながら検討する
- ・会員減少等により活動発表会に参加できないグループ等が参加できる方法を検討する

R7年度取組

- ・活動発表会に有志参加枠を設け、個人参加として日頃の成果を発表できる機会を設けた
- ・保健福祉課等の関係課といきいき体操の会をはじめとした健康づくりグループの今後の支援策を協議し、保健福祉課主催による健康づくりグループ講習会を初開催し、各グループの代表者等に対して、自グループでの活動継続につなげるため、体操講師による体操指導を実施した

R8年度取組予定

- ・多くのグループの活動発表会参加につなげるため、引き続き、有志参加枠を設けるなど、活動発表会の実施内容を検討する
- ・引き続き、関係課と連携し、健康づくりグループ講習会を実施する

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

②はつらつ元気でまっせ講座開催数

KPI R6:2回(目標値:4回)
→R7:4回(目標値:5回)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

既存グループに留まらず、今後活動を予定している新規グループや活動に興味がある方の把握を進め、講座周知を行う

R7年度取組

- ・「通いの場」等に講座チラシを配布したことで、4件(前年度比+2件)の依頼を受付した
- ・4件中2件は新規グループからの依頼で、受講後、2件とも健康づくりグループ加入につながった

R8年度取組予定

- ・引き続き、広報での周知のほか、「通いの場」等に講座チラシを配布し、既存グループの活動継続及び、新規グループの活動支援につなげる

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

③保健センターによるケアプラン作成時の助言回数

KPI R6:37件(目標値:60件)
→R7:48件(目標値:70件)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

助言依頼が地域包括支援センターからのみであり、より多くの事業所からの依頼につながるように、市内のケアマネジャーが集まるケアマネ部会等で周知するとともに、申請書をHPに掲載する

R7年度取組

- ・ケアマネ部会で保健センター、地域包括支援センターそれぞれの立場からサービス利用のメリットを周知した
- ・申請手続きの円滑化のため、申請書をHPに掲載した
- ・ケアマネ部会での説明及び申請書をHPへ掲載したが、他事業所からの助言依頼は1件であった

R8年度取組予定

- ・他事業所から助言依頼があったものの1件のみであったため、つながりネット等に掲載するなど、引き続き、介護事業所への周知を行う

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

④委託型つどい場参加者延べ人数

KPI R6:8,450人(目標値:10,800人)
→R7:6,777人(目標値:11,000人)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

7か所で参加人数が増加しているものの、目標値達成には至らなかったため、オンラインつどい場等をきっかけに新規参加者確保につなげる

R7年度取組

- ・広報等の媒体を活用し、周知するほか、介護の日イベントの作品コンテンツ投票ブースにて、つどい場マップを掲載し、周知した
- ・オンラインつどい場を安威川以北・以南でそれぞれ開催し、4人が対面型つどい場参加へつながった

R8年度取組予定

- ・引き続き、広報等で周知するほか、介護予防講座等の講座にてつどい場マップを掲載する等、機会を捉えた周知を行う

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

⑤カフェ型つどい場団体数

KPI R6:21団体(目標値:22団体)
→R7:22団体(目標値:23団体)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

地域で活動されている団体の中には、集会所等で体操などの活動をされているものの、カフェ型つどい場としての活動はされていない団体もあると想定されるため、生活支援コーディネーター等と連携した案内を行う

R7年度取組

- ・生活支援コーディネーターへ新規つどい場立ち上げを希望する市民から相談があり、立ち上げ支援を行った結果、カフェ型つどい場の新規申請1件につながった
- ・広報掲載により、活動開始を予定している団体から新規申請1件を受け付けた

R8年度取組予定

- ・引き続き、生活支援コーディネーター等と連携した周知を行うとともに、広報掲載や介護予防講座等の各種講座にて周知を行う

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

⑥老人福祉センター来館者数

KPI R6:7,922人(目標値:8,600人)
→R7:7,903人(目標値:8,700人)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

利用者増加を目的として、高齢者のニーズ等に対応して実施した新たな取組について、効果を検証するとともに、利用者の増加につながるよう、高齢者のニーズに応じたイベント等を企画する

R7年度取組

- ・事前の意向調査において希望が多く寄せられた「英会話教室」について、令和6年度及び令和7年度にそれぞれ1回開催したが、いずれも定員には至らなかった。また、参加者の習熟度にばらつきがあり、運営面において個別対応に苦慮する場面が多く見られた
- ・英会話教室のほか、「ペン字教室」や「バッグ作り」などの講座を実施するとともに、多世代交流を目的として、「ふれあいフェスタ」や「秋祭り」など、高齢者から子どもまで幅広い世代が参加できるイベントを初めて開催し、来館者数増加につながった

R8年度取組予定

- ・意向調査による高齢者のニーズを把握し、ニーズに応じた講座やイベント等を実施し、利用者増加につなげる
- ・多世代交流を目的に実施した多世代交流イベントについて、より多くの世代が参加しやすい内容となるよう工夫しながら、引き続き、実施する

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

⑦高齢者のための地域活動マップ掲載団体数

KPI R6:245団体(目標値:290団体)

→R7:242団体(目標値:295団体)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

第2層生活支援コーディネーターによる地域の活動拠点や団体へ訪問し、地域で活動する団体の把握を行い、活動継続につなげるために助言等を行う

R7年度取組

- ・生活支援コーディネーターが地域へ訪問し、「活動したいがメンバーが集まらず活動を始めれない」といった課題がある団体を把握し、課題解決に向け、第2層生活支援コーディネーターの活動を通じて把握した担い手とのマッチングを行い、活動開始の支援を行った
- ・新規つどい場の立ち上げを希望する市民から第2層生活支援コーディネーターへ相談があり、カフェ型つどい場の立ち上げに向け、活動に向けての助言等立ち上げ支援を行った

R8年度取組予定

- ・引き続き、第2層生活支援コーディネーターによる地域で活動する団体や担い手を把握するために地域へ訪問するほか、活動継続につなげるために助言等を行う
- ・大阪府等が開催する研修を通じて、同じ課題をもつ他市町村の課題解決に向けての取組事例等を収集し、本市の実情と照らし合わせながら参考にできるか検討する

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

⑧老人クラブ会員数

KPI R6:1,679人(目標値:2,115人)
→R7:1,280人(R8.1目標値:2,247人)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

- ・モルック等のニュースポーツ体験会や市民参加型のイベントを企画し、既存の団体が活動継続につながるよう会員同士が交流する機会を設ける
- ・市民が参加できるイベントを周知し、老人クラブのPRを行い、新規会員確保につなげる

R7年度取組

- ・モルックをはじめとするニュースポーツ体験会を12回開催し、会員同士が交流する機会となり、日々の活動意欲向上につながった
- ・広報等にて市民参加イベントの開催について掲載し、万博ウォーキングに非会員4人が参加したが、会員申込にはつながらなかった
- ・広報にて老人クラブの活動報告記事を掲載し、市民へ老人クラブ活動のPRを行なった

R8年度取組予定

- ・引き続き、機会を捉えた老人クラブ活動のPRを行うとともに、誰もが参加することができるモルック大会等を開催し、会員の日々の活動意欲の向上及び、新規会員獲得につなげる

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

⑨いきいきカレッジ総受講者数

KPI R6:1,057人(目標値:1,075人)

→R7:1,209人(目標値:1,125人)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

実施科目の統合により、募集定員が減少したことに伴い、受講者数が減少したため、実施内容や実施方法を検討する

R7年度取組

- ・これまで、いきいきカレッジは桜苑とふれあいの里において同時期に開催していましたが、桜苑での開催時期を変更した結果、受講者数の増加につながった
- ・桜苑で実施しているスマホ講座について、参加者ニーズを踏まえて初級コースのみを2コース実施した結果、いずれのコースも定員に達した

R8年度取組予定

- ・いきいきカレッジ修了者アンケートより把握した、参加者のニーズを反映させた新たな専門科目等を実施する(ヨガ・太極拳・ダンスを取り入れた体操など)

1.いつまでも健康で、生きがいを持って暮らせるまちづくり【自立支援と重度化防止】

⑩シルバー人材センターの会員数
及び就業実人数

KPI 会員数 R6:903人(目標値:1,040人) →R7:900人(目標値:980人)
就業実人数 R6:757人(目標値:936人) →R7:703人(目標値:833人)
※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

定年延長により継続して就労する方が増加し、入会者数が減少しているため、健康生きがい就労トライアル等、機会を捉えた周知を行う

R7年度取組

- ・健康生きがい就労トライアルにて周知を行なった結果、1名の入会者確保につながった
- ・これまで会員のみを対象とした体育祭を開催していたが、参加者を会員だけに限定せず市民が参加できる文化祭やカラオケ大会を行なった結果、18名の新規会員確保につながった

R8年度取組予定

- ・引き続き、市民が参加することができるイベント等を実施するほか、健康生きがい就労トライアル等、機会を捉えた周知を行い、新規会員確保につなげる

2.様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】

⑪個別ケース会議開催回数

KPI R6:4回(目標値:15回)

→R7:5回(目標値:22回)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

日々のケースワーク対応の際、ケアマネジャー等の支援者に個別ケース会議の有効性を伝え、地域における様々な主体と連携しながら地域課題の分析を進める

R7年度取組

- ・ケアマネジャーからの事例提供が少ないことから、民生委員等の地域関係者とのネットワークを構築し、関係性を深めるため、ケアマネジャーと地域関係者との交流の場を設けた
- ・緊急対応が必要なケース毎に課題分析を行った。その結果、安威川以北では身寄りのない方からの相談が多く、困難ケースや緊急訪問が増加している傾向がみられたため、安威川以北の中学校区別全体会議において、地域関係者に緊急通報装置やひとり暮らし高齢者等登録制度の周知協力を呼び掛けた
- ・ケアマネジャーに対して、個別ケース会議についてのアンケート調査を実施した

R8年度取組予定

- ・アンケート結果を集計、分析し、個別ケース会議を有効活用できるよう、会議の在り方等を検討する

2.様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】

⑫生活支援コーディネーターが
地域活動を支援した回数

KPI R6:1回(目標値:2回)
→R7:2回(目標値:2回)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

市民や活動団体の相談に応じて、生活支援コーディネーターによる地域資源の把握や情報提供、助言を行う

R7年度取組

- ・新規つどい場の立ち上げを希望する市民から相談があり、カフェ型つどい場の立ち上げに向け、活動に向けての助言等立ち上げ支援を行った
- ・高齢化が進む鳥飼地域において、高齢者だけでなく地域住民のために移動販売等を検討している八百屋と既に活動している魚屋との対話の場を設け、販売ノウハウの共有と相互協力体制の構築につなげた

R8年度取組予定

- ・立ち上げ支援に留まらず、活動団体が活動継続につながるよう、引き続き、活動継続に向けた情報発信や助言等の支援を行う

2.様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】

⑬暮らしの応援協議会の開催

KPI R6:0回(目標値:1回)
→R7:0回(目標値:1回)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

地域で活動する団体等の関係者と調整を進め、開催に向けて取り組む

R7年度取組

- ・高齢者のニーズや地域課題の把握のため、「地域福祉懇談会」や「別府及び鳥飼地域のバスを一緒に考える会」に参加した
- ・市内の移動支援を行っている3団体と生活支援コーディネーターで移動支援に関する課題等を共有した
- ・高齢者の移動支援をテーマに暮らしの応援協議会を3/15に開催した

R8年度取組予定

- ・高齢者を支える体制の充実に向け、第一層・第二層生活支援コーディネーターと協働しながら地域ニーズや課題の把握・情報収集を行う
- ・収集した情報を地域住民や関係機関と共有し、実施可能な取組の検討と政策への反映につなげる

2.様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】

⑭地域多職種連携の会開催回数

KPI R6:3回(目標値:6回)

→R7:5回(目標値:6回)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

在宅医療・介護連携支援コーディネーターと連携し、様々な職種が講演し意見交換を行う研修会を開催する

R7年度取組

- ・在宅医療・介護連携支援コーディネーターと連携して研修会を5回開催し、多職種理解を深めるためのクイズ形式の学習等を実施することで、職種間の交流促進につながった
- ・高齢者福祉分野に留まらず、消防や防災等の他分野の所管課の参加を促した

R8年度取組予定

- ・引き続き、多職種の交流を深める機会として、在宅医療・介護連携支援コーディネーターと連携し、研修会を開催するとともに、幅広い分野でのテーマ設定を検討する

2.様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】

⑮ひとり歩き声掛け模擬訓練参加人数

KPI R6:35人(目標値:55人)

→R7:19人(目標値:60人)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

定例開催の認知症サポーター養成講座に声掛け体験として組み込み、座学で習得した知識を声掛け体験ができる内容に変更して実施する

R7年度取組

- ・定例開催(4回開催)にて、声掛け模擬訓練で実施していた内容を声掛け体験として講座に組み込んで実施した結果、62人が声掛け体験を体験した。参加者からは「声掛け体験にて、声を掛ける練習ができて大変勉強になった」等、好評であった

R8年度取組予定

- ・定例開催の認知症サポーター養成講座については、引き続き、声掛け体験を組み込んで実施する
- ・出前講座の認知症サポーター養成講座については、声掛け体験を実施していないため、出前講座での実施を検討する

2.様々な人が連携し、支え合えるまちづくり【高齢者を支援するネットワークの強化】

⑯ ライフサポーターが案内した福祉サービスの件数
(ひとり暮らし・高齢者のみ世帯登録者、75歳到達者訪問対象者)

KPI

ひとり暮らし・高齢者のみ世帯登録者案内件数
R6:743件(目標値:1,160件) → R7:804件(目標値:1,170件)
75歳到達者訪問対象者案内件数
R6:212件(目標値:580件) → R7:87件(目標値:580件)
※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

見守りが必要な方への訪問を強化するため、訪問頻度の見直し等を行い、必要な方を適切なサービス利用につなげる

R7年度取組

- ・福祉サービスや介護保険サービス利用につながっていない方への訪問をさらに強化するため、ライフサポーターの訪問頻度を見直したことで、案内件数が61件増加した
- ・75歳到達者訪問について、自宅訪問の対象を1人世帯のみとし、2人世帯以上については郵送対応とする見直し、より見守りが必要な方への訪問を強化した

R8年度取組予定

- ・ひとり暮らし登録者等の増加に向けて、チラシ等を作成し、公共施設等へ配架する
- ・75歳到達者訪問対象者のひとり暮らしの方で、福祉サービス等のサービス利用につながっていない方に対して、ひとり暮らし登録等の福祉サービスの案内を行い、サービス利用につなげる

3.高齢者が安心してサービスを受けられるまちづくり【高齢者を支えるサービスの整備】

⑰介護サービス相談員の派遣回数

KPI R6:159回(目標値:160回)

→R7:173回(目標値:172回)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の派遣受入促進のため、対象施設へ介護サービス相談員派遣事業の概要や目的について説明を行い、事業に対する理解を促していく

R7年度取組

- ・府内市町村を対象とした介護サービス相談員派遣等事業促進会議に出席し、他市との意見交換を実施した
- ・既に通所介護等にて介護相談員の受入を行っている事業者で、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を運営している事業所へ、介護サービス相談員の受入の打診を行い、受入の了承を得た
- ・介護サービス相談員の連絡会にて、本市として今後、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅への派遣の方向性を現任の介護サービス相談員へ説明した

R8年度取組予定

- ・引き続き、研修会等にて他市との意見交換による情報収集を実施するとともに、市内対象施設に対して、介護サービス相談員派遣事業の制度周知を行う
- ・受け入れの了承を得た有料老人ホーム1施設へ訪問する

3.高齢者が安心してサービスを受けられるまちづくり【高齢者を支えるサービスの整備】

⑱福祉就職フェア参加者数

KPI R6:46人(目標値:60人)
→R7:64人(目標値:70人)※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

介護人材の確保および定着に向け、大阪府や関係機関と連携し、介護従事者の早期離職防止や定着促進につながる効果的な支援策を検討する

R7年度取組

- ・介護人材確保のため、福祉就職フェアのチラシを自治会等へ配布し、周知活動を行った
- ・介護人材定着のため、介護支援専門員等研修支援補助金を3件交付した

R8年度取組予定

- ・介護人材確保のため、福祉就職フェアの参加者増加に向けて、関係課と連携し周知等を行う
- ・引き続き、介護人材の確保および定着促進に効果的な支援策を検討する

3. 高齢者が安心してサービスを受けられるまちづくり【高齢者を支えるサービスの整備】

⑱訪問型サービスA従事者養成研修修了者数
及び養成研修終了後、事業所に登録した人数

KPI

訪問型サービスA従事者養成研修修了者
R6:4人(目標値:10人)→R7:6人(目標値:15人)
養成研修終了後、事業所に登録した人数
R6:0人(目標値:3人)→R7:1人(目標値:5人)
※R8.1月末時点

R6年度進捗管理

当該事業にかかる認知度が低い為、研修回数増加の検討や福祉の仕事に関心のある人を対象とした福祉就職フェアでの周知等、効果的に機会を捉えた周知活動を行う

R7年度取組

- ・研修会開催にあたり、福祉就職フェアでの周知については、開催時期が合わなかったため実施できなかったことから、市公式LINE及びシルバー人材センターLINEでの配信を行うとともに、研修会場周辺においてチラシを配布した結果、6人の受講につながったが、事業所登録に至った者は1人であった
- ・研修回数の増加については実施事業者と協議をした結果、回数は変更せず、これまでコミュニティプラザのみで開催していた研修を、未実施であった鳥飼地区においても実施した

R8年度取組予定

- ・これまでの取組の効果を検証し、引き続き、実施事業者との協議やSNSを含めた効果的な周知活動を行い、受講者の増加につなげる